

書名	平城京のごみ図鑑			著者名	平城宮跡資料館／監修			
出版社	河出書房新社	ISBN	978-4-309-22688-0	本体価格	¥1,600	発売	2016/11/29	
内容	ごみから一体なにがわかるのか？ 考古学の最新手法が奈良時代人のプライベートに肉薄、ごみが語る奈良時代の声！							

書名	聖地巡礼 リターンズ			著者名	内田樹／著 釈徹宗／著			
出版社	東京書籍	ISBN	978-4-487-80841-0	本体価格	¥1,600	発売	2016/11/21	
内容	内田樹・釈徹宗の二人が、自らの足で歩き、立ち止まり、心ふるわせ、日本各地の靈性を再発見する好評シリーズ「聖地巡礼」。第1弾「大阪・京都・奈良」、第2弾「熊野」につづく、待望の第3弾は「長崎・京都・大阪」。テーマは日本人とキリスト教。日本人にとってキリスト教は、いかなる宗教であったのか。キリスト教はどのように受容され、またなぜ広まることがなかったのか。長崎に聖地をもとめた内田樹・釈徹宗が見出したものは何であったのか。今回の巡礼は、1549年、フランシスコ・ザビエルの鹿児島上陸の話から、始まった。							

書名	撰関期の国家と社会 史学会シンポジウム叢書			著者名	大津 透／著			
出版社	山川出版社	ISBN	978-4-634-52365-4	本体価格	¥4,000	発売	11/下旬	
内容	撰関期の国家や社会の、律令制から平安時代前期を経ての変化を多様な切り口から考察。2015年史学会大会シンポをもとに編集。							

書名	神道千年のいのり 春日大社の心			著者名	花山院弘匡／著			
出版社	春秋社	ISBN	978-4-393-29948-7	本体価格	¥1,600	発売	2016/11/4	
内容	悠久の時を超えて。二〇年に一度の「式年造替」の春日大社。いまこの激動の時代に、“神道”と“日本人の心”をもって力強く生きることの大切さを、春日大社宮司が示唆豊かに語る。							

書名	祭礼で読み解く歴史と社会 春日若宮おん祭の九〇〇年			著者名	幡鎌一弘／著 安田次郎／著		
出版社	山川出版社	ISBN	978-4-634-59086-1	本体価格	¥2,000	発売	11/下旬
内容	奈良の歴史や社会の変遷、寺社の役割、伝統芸能など、多様な分野を、約900年にわたって続いてきた「おん祭」を通して明らかにする。豊富な図版を掲載し、わかりやすく解説。						

書名	『日本書紀』の呪縛			著者名	吉田一彦／著		
出版社	集英社	ISBN	978-4-08-720859-7	本体価格	¥760	発売	2016/11/1
内容	“本と日本史”は「本」のあり方から各時代の文化や社会の姿を考え、当時の世界観・価値観がどのように成立し、変化していったのかを考察する歴史シリーズ。第一巻が扱うのは『日本書紀』。歴史は常に勝者のものだった。『日本書紀』もまた、当時の権力者の強い影響下で生まれ、書物と書物の争いを勝ち抜いてきた。今日においても歴史の記述に大きな力を持つこの「正典」を最新の歴史学の知見をもとに読み解き、相対化する。本書は歴史解釈の多様性を示す『日本書紀』研究の決定版である。						

書名	古事記の宇宙 古神道的考察			著者名	竹内睦泰／著		
出版社	青林堂	ISBN	978-4-7926-0570-4	本体価格	¥1,200	発売	2016/11/1
内容	「古事記」に秘められた日本そして宇宙の歴史。第73世武内宿禰の竹内睦泰が門外不出の口伝を公開！						

書名	春日大社のすべて 宮司が語る御由緒三十話			著者名	花山院弘匡／著		
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-004900-2	本体価格	¥1,800	発売	2016/12/8
内容	2016年秋の国宝殿オープンと、20年に一度の式年造替を記念。宮司みずから筆を執り、春日大社の沿革・祭事・社殿・灯籠・御神宝など、大社にまつわる30の逸話を紹介した、完全ガイド。さらに、200点にのぼる美しい写真で、視覚的にも楽しめる、カラー版ヴィジュアルブック。						